

震災の次の年、私は某電力会社の社員さんと話す機会がありました。私はその方(以 下Aさんとします。)と話すために某所まで出かけて行きましたが、その日まで直接連 絡を取りあう事はありませんでした。Aさんは私のセキュリティの事を心配していたから です。駅で会うとAさんは私に携帯の電源を切るように言い、そしてすぐに待ち合わせ 場所から移動しました。それから数時間話しました。震災後の私の血

液検査やスクリーニングの記録を見せると、Aさんは涙を浮か

べて言いました。「わかってはいたけれども実際にこうして目にすると、自分が加 害者の側にいただけに言葉にできない。」(Aさんは震災当時、その会社 の中枢部にいました。)そして、こんな事を私に言いました。(書き留 めておきませんでしたが私の記憶では…) A さんは「測定方法すら ないものが放出されているかもしれない。私はそれが心配で す。」私は非現実的な話をよくのみこめず、なんとなく聞いた のを覚えていました。

その後、私は知人にその話をしました。以下は知人から 聞いた核種の話です。「ウラン 235」や「プルトニウム 239」、「アメリシウム 241」などと表示される元素の名 前の後の数字は、原子核をつくる陽子と中性子の数で す。自然界にはウランよりも陽子の数が多い元素は存 在しません。ウランの陽子の数は92個、プルトニウ ムでは 94 個です。「プルトニウム 239」のようなウラ ンよりも多い陽子を持つ超ウラン元素や「ヨウ素 131」な どの人工放射性核種は超新星爆発で生じたとしても、地 球ができた頃には消滅していたと考えられます。地球上 の生物がこれらの物質に遭遇するのは核開発以降のことで す。もしかしたら、もっともっと大きな数字の核種が存在して いるかもしれません。福島に限った事ではないと思いますが、 ウランやプルトニウムなどのα線を出す核種がセシウムよりもはる かに多く計測される地域があることをご存知でしょうか? α線核種の汚 染分布と空間線量は比例していません。

たりにエーなできた。そしれでし、なるで、そのう それから、また、しばらくして私は長距離バスで隣に座った物理学者という人にAさん の話をしました。知人から説明してもらい頭では理解したのですが、見知らぬ物理学者がどうい う見解を持っているのか聞きたいと思ったからです。「原発は私の分野ではないけれど、あの原発の爆発で私達 の知らない核種、調べる術のない核種ができた事は充分に考えられます。」そして、「地球は全てを包括して自然 という形で調和しています。原発はその調和を壊すもの、私にはとても気持ちの悪いものです。自然放射能では ない人工の核種は調和を破壊します。」という話を聞いて心底恐ろしいと思いました。

東京では原発の報道は少なくなったと聞きますが、ここでは毎日のように放射能についての報道があります。「放 射能対策」「放射能とどう向き合うか?」悪者は放射能です。相手が人じゃないと言いやすいのでしょうか?でも意 志を持たない放射能に罪はありません。放射能を悪者にして示談成立のような雰囲気です。そして、当たり前 のように放射能に慣れてゆきます。「お魚食べたい! 牛乳飲みたい! 原発いらない!」と毎週金曜日に国会前で 叫ばれているそうですが、当然とは思いました。でも、一旦被曝地になってしまえば現実が日

> 常になり、人は放射能の中で暮らすことに慣れてゆきます。被曝地は強制的に麻薬 中毒にされた人に似ていると思います。怖かったし、抵抗もしました。それ でも人は慣れてゆきます。加害者がどんなに理不尽であっても、誰 もがそれをわかっていても、ただそれだけのことになってしまうので すね。

Fukushima:

YES **NUCLEAR** -FREE"

被災地へ あらおしゅんすけ 二本松市・詩人

> あなたは行きましたか 見ましたか、 聞きましたか

家も庭も 人々の歴史までもが津波で流され 放射能が居座っている無人の町へ

> 人々の思いが積もった山 人々の涙が流れている川 人々の哀しみを伝える野の風

こういう町があることを知って もしかするとあなたの町も こうなるかもしれないと想像したとき

あなたは何をどうしますか

ブログ「あらお しゅんすけ 3.11 の記録」より

福島バッジプロジェクト http://fukushimabadge.blog.fc2.com 2015.4.20